

# 「簡単! セットアップウィザード」を起動する

TransCube をプロバイダに接続し、インターネットを利用するためには、TransCube のルータ機能の設定を行う必要があります。TransCube の「簡単! セットアップウィザード」で、この設定を対話形式で簡単に行えます。

なお、設定にはプロバイダから送られてきた契約時の書類などが必要になりますので、お手元に用意してください。

ここでの説明は Windows XP で行いますが、操作は Windows Me でも同じです(画面の外観は多少異なります)。

## 1 TransCubeの電源を入れる

▶ TransCube の表示窓に日付と時刻が表示され、ビデオモードLEDがオレンジに点灯すれば、準備は完了です。

## 2 すでにTransCubeが起動していてビデオモードになっているときは、ルータモードに切り替える

▶ リモコンビデオモードになっているときは、リモコン/本体の「ビデオモード」ボタン押してルータモードに切り替えてください。ビデオモードLEDの色がオレンジに変わればルータモードです。

▶ PC ビデオモードになっているときは、パソコンのLIVE MEDIA for TransCubeアプリケーションを終了してルータモードに切り替えてください。ビデオモードLEDの色がオレンジに変わればルータモードです。

▶ 以下の操作は必ずルータモードで行ってください。

▶ パソコンを起動する前にTransCubeを起動しておいてください。



## 3 パソコンの電源を入れる

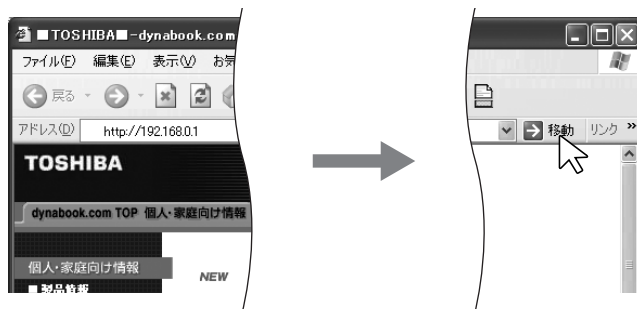
▶ 利用できるOSは、Windows XPとWindows Meです。

## 4 パソコンのInternet Explorerを起動して、「アドレス」に[http://192.168.0.1]と入力し、[移動]をクリックする

▶ 利用できるInternet Explorerのバージョンは5.5以降です。

▶ Netscape CommunicatorなどInternet Explorer以外のブラウザは利用できません。

▶ 「192.168.0.1」は商品購入時の初期値です。お客様が変更された場合はその値を入力してください。



### ワンポイント

「アドレス」欄にすでにURLが入力されている場合は、「アドレス」欄をクリックして選択状態にし、[Delete]キーや[Back Space]キーで入力されている文字を消してから、新たに入力してください。

- 5 「ユーザー名」と「パスワード」を入力する
- ▶ 「ユーザー名」を入力したら、パスワードの入力欄をマウスでクリックするか、あるいはキーボードの [Tab] キーを押して、入力用のカーソルを入力欄に移動させます。



### ワンポイント

初期設定では、「ユーザー名」と「パスワード」が次のように設定されています。

ユーザー名: admin

パスワード: password

なお、「ユーザー名」と「パスワード」は変更したほうが安全です。下記を参照して、独自のものを設定することをお勧めします。

参照

機器管理設定 本体リファレンスマニュアル・104 ページ

### ワンポイント

「パスワードを記憶する」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れると、次回からはユーザー名やパスワードを入力する必要がなくなります。

- 6 [OK] ボタンをクリックする

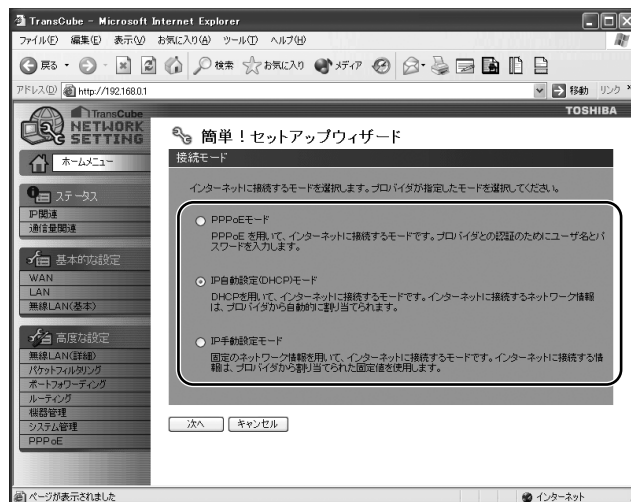
- 7 設定のメニュー画面が表示されるので、「簡単! セットアップウィザード」をクリックする

▶ 図とは違う画面になっている場合、画面左にある [ホームメニュー] をクリックすると、この画面が表示されます。



# 8

「接続モード」の選択画面が表示されるので、インターネットに接続する方法に応じて、各接続モードの をクリックする



## PPPoE モード

フレッツ・ADSL など、PPPoE 方式で接続するプロバイダのときに選択します。接続方式がわからない場合はプロバイダにお問い合わせください。

それでもわからない場合、次の条件をすべて満たすときは PPPoE 方式と考えられます。

- ・プロバイダ指定の ADSL モデムがルーター体型(ADSL ルータ)ではない
- ・接続のために使用するユーザー ID、パスワードがプロバイダから指示されている

74 ページへお進みください。

## IP 自動設定 (DHCP) モード

Yahoo! BB や多くの CATV 接続など、DHCP 方式で接続するプロバイダのときに選択します。接続方式がわからない場合はプロバイダにお問い合わせください。

それでもわからない場合、次の条件をすべて満たすときは DHCP 方式と考えられます。

- ・プロバイダ指定の ADSL / CATV モデムがルーター体型(ADSL ルータ)ではない
- ・接続のために使用するユーザー ID、パスワードがプロバイダから指示されていない

78 ページへお進みください。

## IP 手動設定モード

固定 IP アドレスでインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダと固定 IP アドレス契約を結んでいる場合のモードです。

82 ページへお進みください。

### 注意

プロバイダ指定の接続機器が ADSL ルータ(ADSL モデムとルーターが一体になった機器)の場合は、特殊な設定手順となります。「本体リファレンスマニュアル」76 ページをご参照ください。お使いの ADSL モデムがルーター体型かどうかかわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

### ワンポイント

Internet Explorer 5.5 以降をご使用にもかかわらずウィザードが起動しない場合は、Internet Explorer の Java スクリプトの設定を「有効」に変更する必要があります。

参照 困ったときは 簡単！セットアップウィザードが起動しないとき 142 ページ

# 「PPPoEモード」の設定

「PPPoEモード」は、フレッツ・ADSLなど、PPPoE方式で接続するプロバイダをご利用のときに選択するモードです。接続方式がPPPoEとわかっている場合はこのモードを選択してください。接続方式がわからない場合はプロバイダにお問い合わせください。

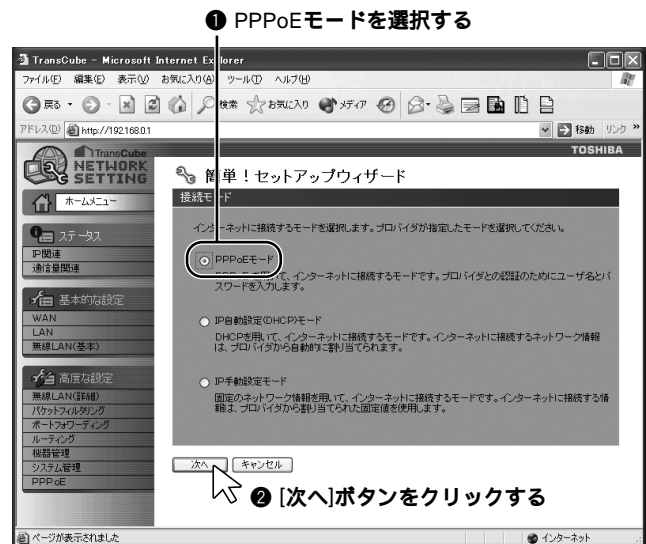
それでもわからない場合、次の条件をすべて満たすときはPPPoE方式と考えられます。

- ・プロバイダ指定のADSLモデムがルーター一体型(ADSLルータ)ではない
- ・接続のために使用するユーザーID、パスワードがプロバイダから指示されている

## 注意

プロバイダ指定の接続機器がADSLルータ(ADSLモデムとルータが一体になった機器)の場合は、特殊な設定手順となります。「本体リファレンスマニュアル」76ページをご参照ください。お使いのADSLモデムがルーター一体型かどうかかわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

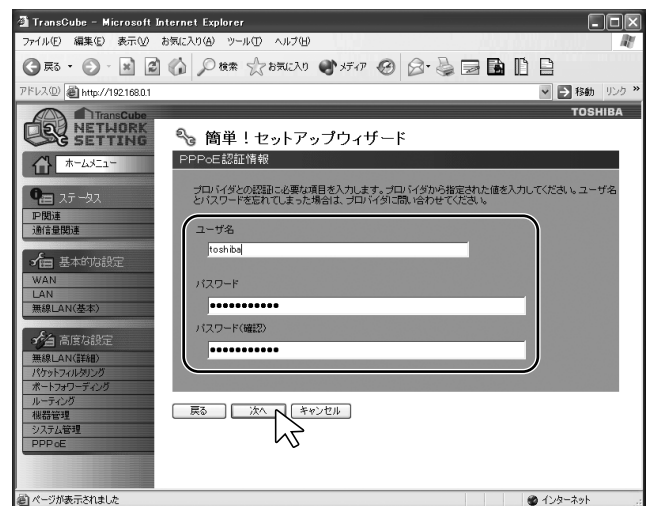
## 1 「簡単! セットアップウィザード」を起動し、「PPPoEモード」を選択して[次へ]ボタンをクリックする



## 2 「ユーザー名」と「パスワード」を入力する

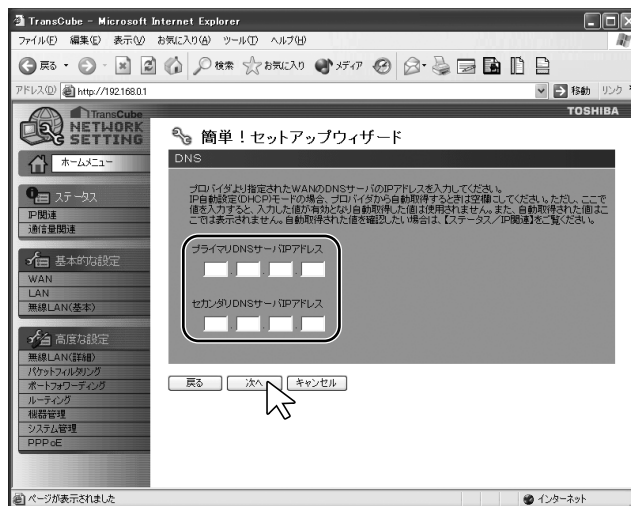
▶ 入力する文字は、大文字、小文字、半角文字、全角文字などを区別している場合がほとんどです。ISPの指定をきちんと確認して入力してください。

- ・ユーザー名：  
プロバイダから指定されたADSL接続用のユーザー名(ユーザーID)を入力します。
- ・パスワード：  
プロバイダから指定されたパスワード、またはISPに申請したパスワードを入力します。半角英数文字で大文字小文字を正確に入力してください。
- ・パスワード(確認)：  
上で入力したものと同一パスワードを入力します。



# 3 [次へ] ボタンをクリックする

# 4 DNSサーバのIPアドレスを入力する



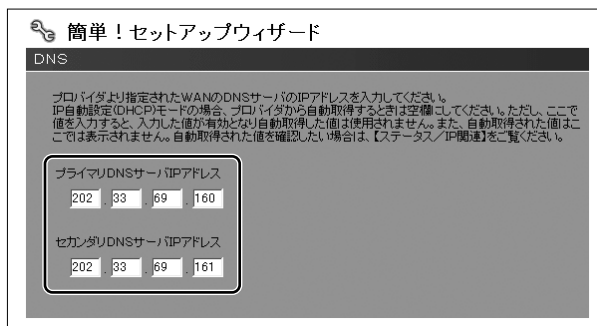
## ワンポイント

IP アドレスを入力する場合は、指定された数値を次のように入力します。1 つの欄に入力を終えたら、[Tab] キーを押して次の欄にカーソルを移動します。

### ・例

プライマリ DNS : 202.33.69.160、セカンダリ DNS : 202.33.69.161 と指定された場合

このIP アドレス値は入力例です。実際にはこのアドレスでは動作しませんのでご注意ください。



## ワンポイント

### ・フレッツ・ADSL の場合の設定例

- ・ユーザー名 : プロバイダから指定されたADSL 接続用のユーザーID を入力します。
- ・パスワード : プロバイダに申請したパスワードを入力します。
- ・パスワード(確認) : 上で入力したものと同一パスワードを入力します。
- ・プライマリDNS、セカンダリDNS : プロバイダから通知された値を入力します(わからない場合はプロバイダにお問い合わせください)。

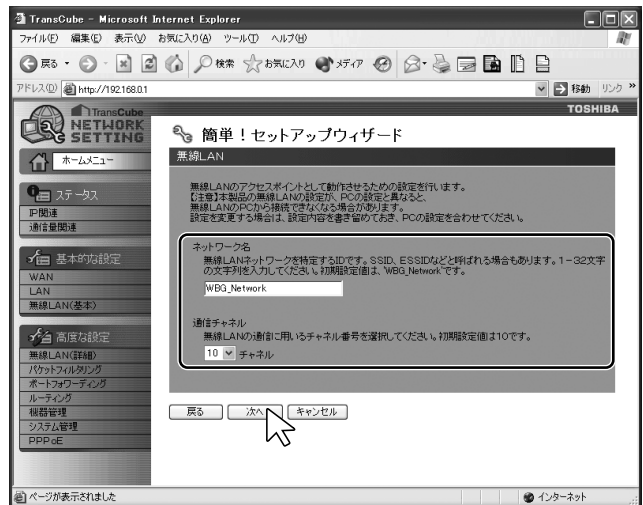
# 5 [次へ] ボタンをクリックする

## 6

## 「ネットワーク名」と「通信チャンネル」を設定する

▶ 「ネットワーク名」と「通信チャンネル」の初期値は次のとおりです。この値を変更したときはパソコンの設定もそれに合わせてください。

1. ネットワーク名 : WBG\_Network
2. 通信チャンネル : 10 チャンネル



## ワンポイント

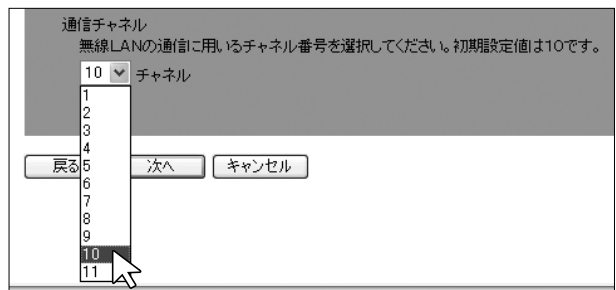
- ・複数の無線LANステーションを利用する場合は、ネットワーク名や通信チャンネルを変更して利用することができます。

## 参照

無線LANの設定変更 本体リファレンスマニュアル・95 ページ，97 ページ

## ワンポイント

「通信チャンネル」は、[v] ボタンをクリックして、利用したいチャンネルを選択します



## 7

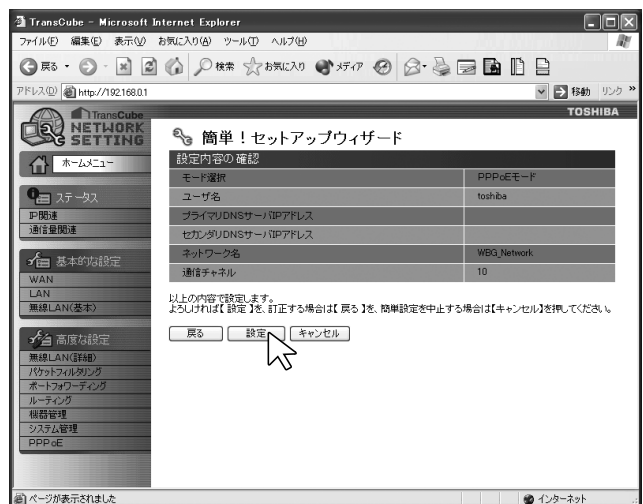
[次へ] ボタンをクリックする

## 8

設定内容を確認し、[設定] ボタンをクリックする

▶ 設定内容を訂正する場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。

▶ 設定を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。





# 9

メニュー画面に戻るので、「接続モード」が「PPPoEモード」に設定されていることを確認する



## ワンポイント

[設定] ボタンを押すと、自動的にプロバイダへの接続を開始します。切断するには、「本体リファレンスマニュアル」106ページをご覧ください。

これで設定は完了です。「その他のネットワーク設定の確認」(85ページ)へ進んでください。

はじめに

設置と設定

本製品の各部名称

電源の接続とリモコンの準備

テレビなどとの接続

パソコンとの接続

本体の設定

インターネットへの接続

やってみよう

# 「IP 自動設定 (DHCP) モード」の設定

「IP 自動設定 (DHCP) モード」は、Yahoo! BB や多くの CATV 接続など、DHCP 方式で接続するプロバイダをご利用のときに選択するモードです。接続方式が DHCP とわかっている場合はこのモードを選択してください。接続方式がわからない場合はプロバイダにお問い合わせください。

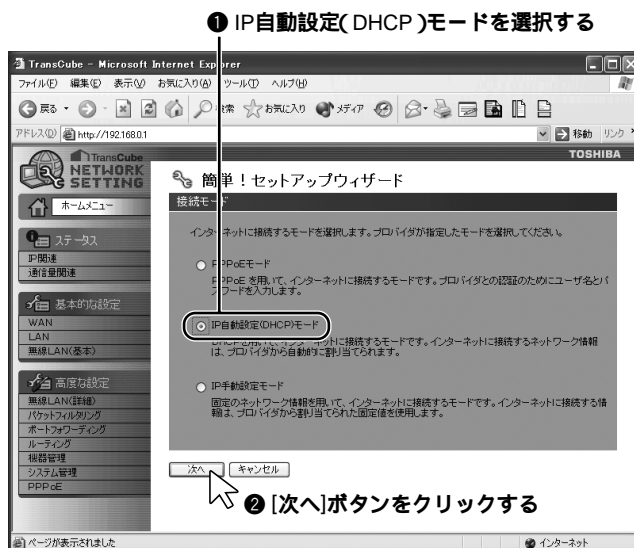
それでもわからない場合、次の条件をすべて満たすときは DHCP 方式と考えられます。

- ・プロバイダ指定の ADSL / CATV モデムがルーター一体型 (ADSL ルータ) ではない
- ・接続のために使用するユーザー ID、パスワードがプロバイダから指示されていない

## 注意

プロバイダ指定の接続機器が ADSL ルータ (ADSL モデムとルータが一体化した機器) の場合は、特殊な設定手順となります。「本体リファレンスマニュアル」76 ページをご参照ください。お使いの ADSL モデムがルーター一体型かどうかかわからない場合は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

- 1 「簡単! セットアップウィザード」を起動し、「IP 自動設定 (DHCP) モード」を選択して [次へ] ボタンをクリックする



- 2 DNS サーバの IP アドレスを入力する  
▶ プロバイダから DNS サーバの IP アドレスが指定されていない場合は、入力する必要はありません。





## ワンポイント

IP アドレスを入力する場合は、指定された数値を次のように入力します。1 つの欄に入力を終えたら、[Tab] キーを押して次の欄にカーソルを移動します。

## ・例

プライマリ DNS : 202.33.69.160、セカンダリ DNS : 202.33.69.161 と指定された場合

この IP アドレス値は入力例です。実際にはこのアドレスでは動作しませんのでご注意ください。

## 簡単！セットアップウィザード

DNS

プロバイダより指定された WAN の DNS サーバの IP アドレスを入力してください。  
IP 自動設定 (DHCP) モードの場合、プロバイダから自動取得するときは空欄にしてください。ただし、ここで値を入力すると、入力した値が有効となり自動取得した値は使用されません。また、自動取得された値はここでは表示されません。自動取得された値を確認したい場合は、【ステータス / IP 関連】をご覧ください。

プライマリ DNS サーバ IP アドレス  
202 33 69 160

セカンダリ DNS サーバ IP アドレス  
202 33 69 161

## 3

[次へ] ボタンをクリックする

## 4

「ネットワーク名」と「通信チャンネル」を設定する

▶ 「ネットワーク名」と「通信チャンネル」の初期値は次のとおりです。この値を変更したときはパソコンの設定もそれに合わせてください。

1. ネットワーク名 : WBG\_Network
2. 通信チャンネル : 10 チャンネル

TransCube - Microsoft Internet Explorer

簡単！セットアップウィザード

無線 LAN

無線 LAN のアクセスポイントとして動作させるための設定を行います。  
【注意】本製品の無線 LAN の設定が、PC の設定と異なる場合、無線 LAN の正常な動作をできなくなる場合があります。  
設定を変更する場合は、設定内容を書き留めておき、PC の設定を合わせてください。

ネットワーク名  
無線 LAN ネットワークを特定する ID です。SSID、ESSID などと呼ばれる場合もあります。1～32 文字の文字列を入力してください。初期設定値は、WBG\_Network です。

WBG\_Network

通信チャンネル  
無線 LAN の通信に用いるチャンネル番号を選択してください。初期設定値は 10 です。

10 チャンネル

戻る 次へ キャンセル

## ワンポイント

「通信チャンネル」は、[v] ボタンをクリックして、利用したいチャンネルを選択します。

通信チャンネル

無線 LAN の通信に用いるチャンネル番号を選択してください。初期設定値は 10 です。

10 ▼ チャンネル

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11

戻る 次へ キャンセル

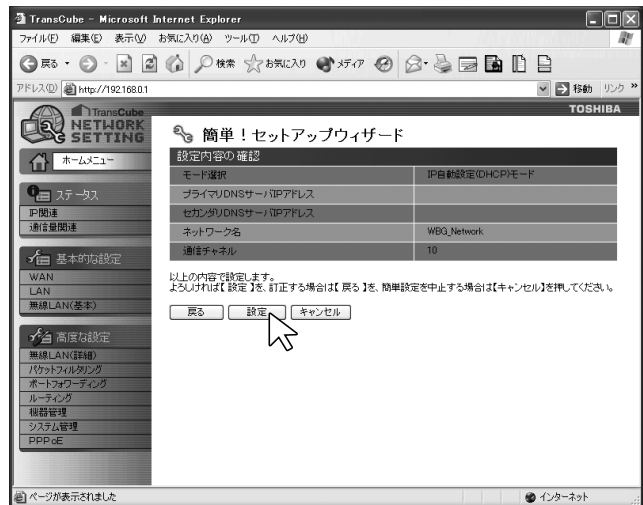
## 5

[次へ] ボタンをクリックする

## 6

設定内容を確認し、[設定] ボタンをクリックする

- ▶ 設定内容を訂正する場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。
- ▶ 設定を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



## 7

メニュー画面に戻るので、「接続モード」が「IP 手動設定 (DHCP) モード」に設定されていることを確認する



## 機器名を変更する

プロバイダによっては、「ホスト名」を確認してから接続を許可する場合があります。この場合、プロバイダからホスト名の通知があります。パソコンを直接モデムに接続する場合は、このホスト名をパソコンのホスト名として設定するのですが、TransCubeを利用する場合は、ホスト名をTransCubeの「機器名」として設定します。

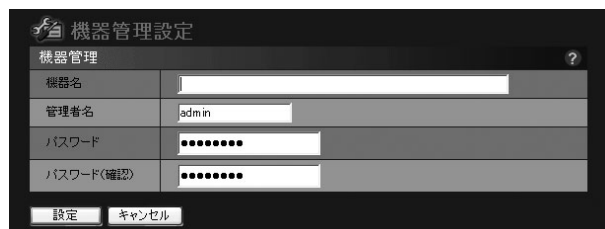
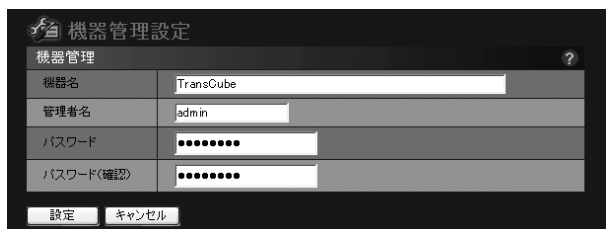
なお、プロバイダからホスト名の通知がない場合はこの操作は必要ありません。「その他のネットワーク設定の確認」(85 ページ)へ進んでください。

## 1

ホームメニューを表示し、「機器管理」をクリックする

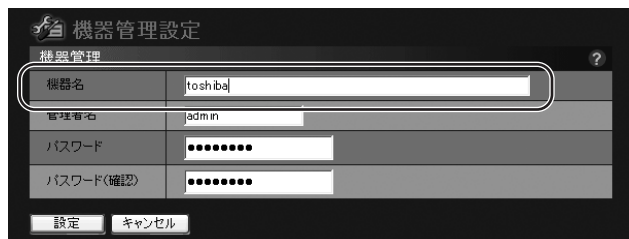


- 2 「機器管理設定」の「機器名」の入力欄をクリックし、[Delete] キーや [Back Space] キーを使って、初期値として入力されている [TransCube] という文字を消す



- 3 プロバイダから指定されているホスト名を、「機器名」に入力する

▶ プロバイダから指定されたインターネット接続用のホスト名を入力します。ダブルコーテーション以外のASCII文字（半角の英数字や記号）で大文字小文字を正確に入力してください。



- 4 [設定] ボタンをクリックする

- 5 「ホームメニュー」をクリックする

▶ 画面下に「ページが表示されました」と表示されてからクリックしてください。

- 6 「機器名」が変更されていることを確認する

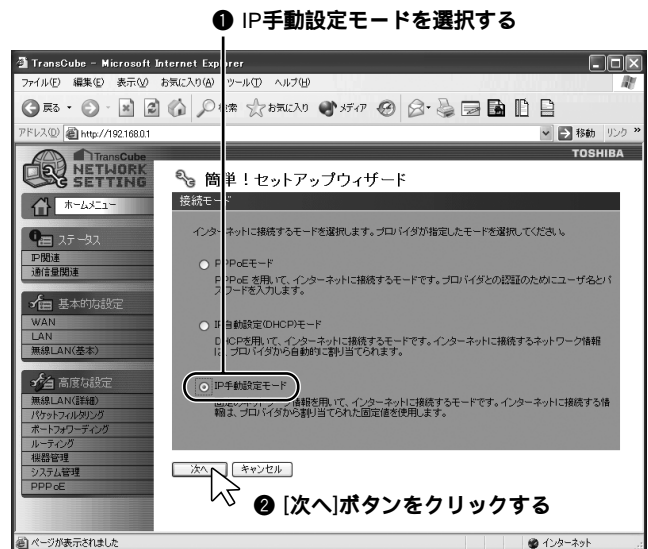


これで設定は完了です。「その他のネットワーク設定の確認」( 85 ページ )へ進んでください。

# 「IP 手動設定モード」の設定

「IP 手動設定モード」は、プロバイダから割り当てられたインターネット接続用の固定 IP アドレスを設定してインターネットに接続するモードです。専用線接続のときに選択します。

## 1 「簡単! セットアップウィザード」を起動し、「IP 手動設定モード」を選択して [次へ] ボタンをクリックする



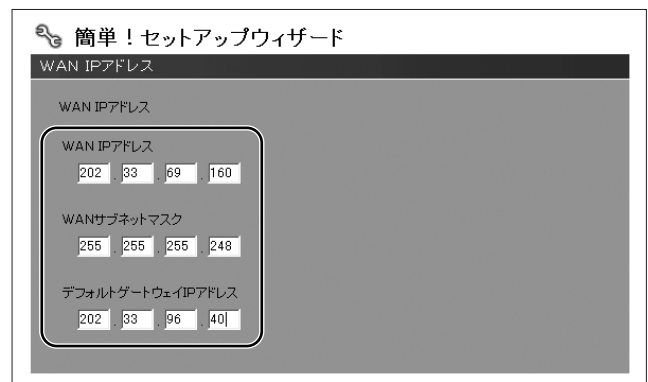
## 2 プロバイダから割り当てられた WAN 用の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ IP アドレスを入力する

▶ 「WAN IP アドレス」は、プロバイダから指定されたものを入力します。複数の IP アドレスが配付された場合、その中から任意の 1 つを選んで入力します。

▶ 「WAN サブネットマスク」は、プロバイダから指定されたものを入力します。

▶ 「デフォルトゲートウェイ IP アドレス」は、プロバイダから指定されたものを入力します。プロバイダの指定がない場合は入力しないでください。

▶ 1 つの欄に入力を終えたら、[Tab] キーを押して次の欄にカーソルを移動します。



### WAN IP アドレス

202.33.69.160 と指定された場合

### WAN サブネットマスク

255.255.255.248 と指定された場合

### デフォルトゲートウェイ IP アドレス

202.33.96.40 と指定された場合

この IP アドレス値は入力例です。実際にはこのアドレスでは動作しませんのでご注意ください。

## 3 [次へ] ボタンをクリックする

## 4 DNSサーバのIPアドレスを入力する

▶ プロバイダから指定されたDNSサーバのIPアドレスを入力します。

▶ 1つの欄に入力を終わったら、[Tab] キーを押して次の欄にカーソルを移動します。

簡単！セットアップウィザード セカンダリDNSサーバIPアドレスに誤りがあります。

DNS

プロバイダより指定されたWANのDNSサーバのIPアドレスを入力してください。IP自動設定(DHCP)モードの場合、プロバイダから自動取得するときは空欄にしてください。ただし、ここで値を入力すると、入力した値が有効となり自動取得した値は使用されません。また、自動取得された値はここでは表示されません。自動取得された値を確認したい場合は、【ステータス/IP関連】をご覧ください。

プライマリDNSサーバIPアドレス  
202 33 96 40

セカンダリDNSサーバIPアドレス  
202 33 96 41

プライマリDNS 202.33.96.40 と指定された場合  
セカンダリDNS 202.33.96.41 と指定された場合

このIPアドレス値は入力例です。実際にはこのアドレスでは動作しませんのでご注意ください。

## 5 [次へ] ボタンをクリックする

## 6 「ネットワーク名」と「通信チャンネル」を設定する

▶ 「ネットワーク名」と「通信チャンネル」の初期値は次のとおりです。この値を変更したときはパソコンの設定もそれに合わせてください。

1. ネットワーク名 : WBG\_Network
2. 通信チャンネル : 10 チャンネル

簡単！セットアップウィザード

無線LAN

無線LANのアクセスポイントとして動作させるための設定を行います。  
【注意】本製品の無線LANの設定が、PCの設定と異なる場合、無線LANがPCから検出できなくなる場合があります。  
設定を変更する場合は、設定内容を書き留めておき、PCの設定を合わせてください。

ネットワーク名  
無線LANネットワークを特定するIDです。SSID、ESSIDなどと呼ばれる場合もあります。1～32文字の文字列を入力してください。初期設定値は、WBG\_Networkです。

通信チャンネル  
無線LANの通信に用いるチャンネル番号を選択してください。初期設定値は10です。

10 チャンネル

戻る 次へ キャンセル

### ワンポイント

「通信チャンネル」は、[v] ボタンをクリックして、利用したいチャンネルを選択します。

通信チャンネル

無線LANの通信に用いるチャンネル番号を選択してください。初期設定値は10です。

10 ▼ チャンネル

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11

戻る 次へ キャンセル

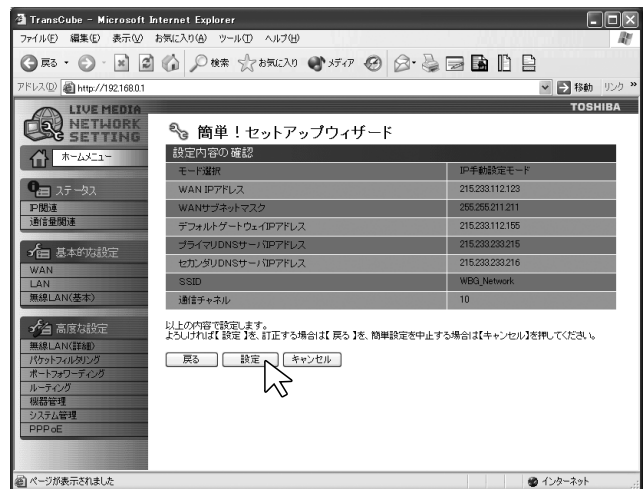
## 7 [次へ] ボタンをクリックする

## 8

設定内容を確認し、[設定] ボタンをクリックする

▶ 設定内容を訂正する場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。

▶ 簡単設定を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



## 9

メニュー画面に戻るので、「接続モード」が「IP 手動設定モード」に設定されていることを確認する



これで設定は完了です。「その他のネットワーク設定の確認」( 85 ページ )へ進んでください。



# その他のネットワーク設定の確認

TransCube は、無線 LAN アクセスポイントルータ機能と AV ステーション機能の 2 つの機能を備えており、この 2 つの機能を利用するためには、それぞれに別個の IP アドレスが設定されている必要があります。また、無線 LAN で接続する場合には、TransCube 本体の無線 LAN 環境が正しく設定されている必要があります。

これらの設定は商品購入時に初期値として設定してありますが、念のために確認しておくことをお勧めします。以下、IP アドレスの確認、DHCP サーバ機能、および無線 LAN の基本設定の確認について、順に説明します。

なお、ネットワーク環境についての知識がない場合、ここでは設定値を確認するだけで、設定内容を変更しないようにしてください。また、無線 LAN の「セキュリティ」の項目を設定される場合は、本体リファレンスマニュアルの 95 ページを参照してください。

## TransCube の IP アドレス設定と DHCP の設定確認

1

71 ページの手順により、Internet Explorer で TransCube 本体の設定画面を開く

2

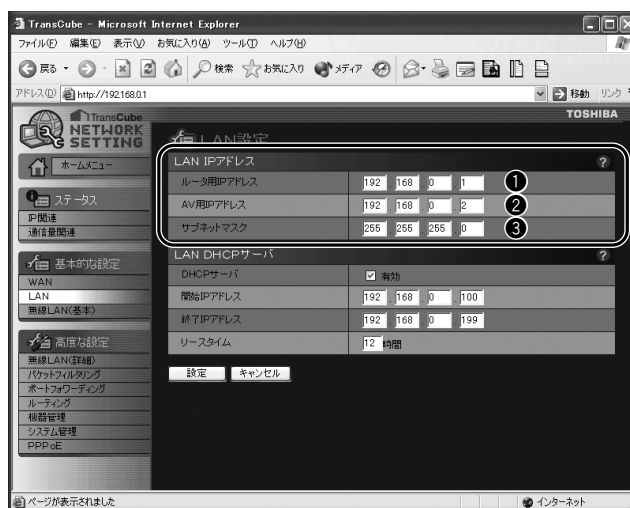
メニューの「基本的な設定」にある「LAN」をクリックする



3

「LAN IPアドレス」を確認する

▶ 無線 LAN / 有線 LAN 共通で使用される IP アドレスです。



はじめに

設置と設定

本製品の各部名称

電源の接続とリモコンの準備

テレビなどの接続

パソコンとの接続

本体の設定

インターネットへの接続

やってみよう

商品購入時には、ルータ機能とAVステーション機能のそれぞれのIPアドレスが、次のように設定されています。この設定値は必要のない限り変更しないでください。変更すると、ルータ機能とAVステーション機能が利用できなくなることがあります。

① ルータIP アドレス	ルータ機能のIP アドレス	192.168.0.1
② AVステーションIP アドレス	AVステーション機能のIP アドレス	192.168.0.2
③ サブネットマスク	上記のサブネットマスク	255.255.255.0

**参照** ルータ機能のIPアドレスの変更 本体リファレンスマニュアル・93 ページ

**参照** AVステーションのIPアドレスの変更 本体リファレンスマニュアル・93 ページ

### ワンポイント

「サブネットマスク」とは、ネットワークアドレスの「ネットワーク部」と「ホスト部」を指定する数値で、これによってパソコンなどに割り当てるIPアドレスの範囲を限定しています。必要のない限りこの数値は変更しないでください。

## 4 「LAN DHCPサーバ」を確認する



① DHCP サーバ	DHCP サーバ機能のオン / オフ	オン
② 開始IP アドレス	DHCP で配付するIPアドレスの範囲の開始値	192.168.0.100
③ 終了IP アドレス	DHCP で配付するIPアドレスの範囲の終了値	192.168.0.199
④ リースタイム	配布されたIPアドレスを使い続けられる時間	12

### ワンポイント

DHCP サーバとは、LAN に接続されているパソコンなどに自動的にIPアドレスを割り当てるための機能です。商品購入時はDHCPサーバの利用がオン(有効)になっています。

### ワンポイント

「リースタイム」では、割り当てられたIPアドレスを保持する時間が設定されていますが、この時間内に同じパソコンから再度IPアドレスの割り当て要求があった場合、同じIPアドレスが割り当てられます。割り当て可能な数字は、1～48までの整数です。

## 5 設定内容が上記の内容なら、[キャンセル] ボタンをクリックする

▶ 設定内容が上記と異なる場合は、設定内容を上記の内容にして [設定] ボタンをクリックしてください。

## 無線 LAN の基本設定の確認

### 1 設定画面のメニューの「基本的な設定」にある「無線 LAN(基本)」をクリックする



### 2 「無線 LAN 設定(基本)」画面が表示されるので、「ネットワーク名」と「通信チャンネル」を確認する

▶ 「ネットワーク名」と「通信チャンネル」の初期値は次のとおりです。この値を変更したときはパソコンの設定もそれに合わせてください。



- |           |                |             |
|-----------|----------------|-------------|
| ① ネットワーク名 | ネットワークを識別する    | WBG_Network |
| ② 通信チャンネル | 無線通信に利用するチャンネル | 10 チャンネル    |

#### ワンポイント

複数の無線 LAN ステーションを利用する場合は、ネットワーク名や通信チャンネルを変更して利用することができます。TransCube のネットワーク名を変更した場合は、パソコンの設定も TransCube の設定に合わせてください。

**参照** Windows XP での無線 LAN の設定 本体リファレンスマニュアル・58 ページ

**参照** Windows Me での無線 LAN の設定 本体リファレンスマニュアル・63 ページ

### 3 設定内容を確認し、[キャンセル] ボタンをクリックする

▶ 設定内容を変更した場合は、[設定] ボタンをクリックしてください。TransCube の設定内容が変更されます。

# 接続の確認

インターネットへの接続設定 / 確認が終了したら、Web ページにアクセスしてインターネットへ接続してみましょう。

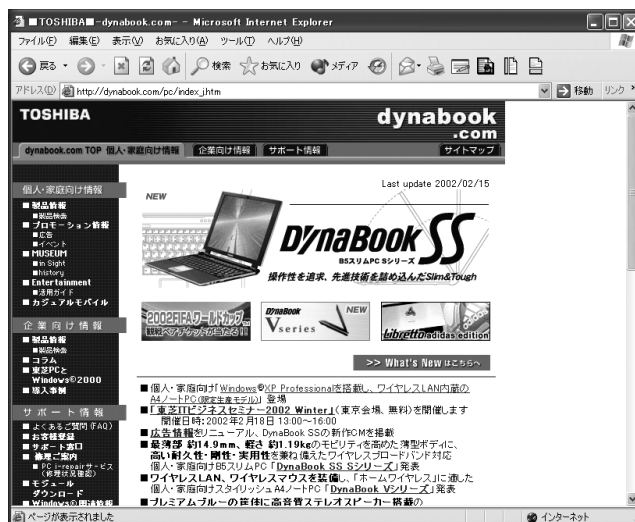
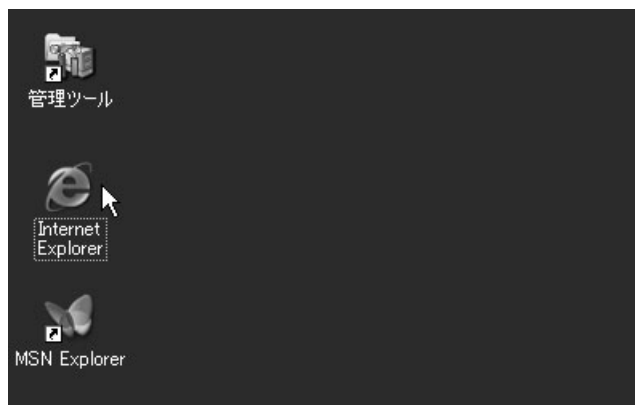
**1** TransCube の電源が入っていることを確認する

**2** パソコンの電源を入れる

**3** Windows XP が起動したら、デスクトップにある Internet Explorer のアイコンをダブルクリックする

**4** Internet Explorer が起動し、Web ページが表示される

▶ Web ページが表示されれば、インターネット接続は成功です。このままインターネットをお楽しみください。



▶ 右のような画面が表示された場合は、インターネットに接続できていません。

